

日東病院では 泌尿器科の外来診療 を行っております

●日東病院 泌尿器科の医療機器紹介



1 尿流量測定装置

排尿障害を診断する尿流測定(ウロフローメトリー)検査を行う、TOTO製尿流量測定装置を導入しました。普段のトイレと同じような環境で検査ができるため、精神的負担も少なく、リラックスした自然な排尿状態での測定が可能です。



2 軟性膀胱内視鏡システム

膀胱内粘膜の異常や膀胱壁を観察し、腫瘍、結石の有無、尿管口の異常、前立腺部尿道の閉塞状態(男性のみ)を調べる検査ができる軟性膀胱内視鏡を導入しました。軟性膀胱鏡は細径であり、より痛みの少ない検査が可能です。また、明るい画像のハイビジョンモニターでより詳細な観察を行い、膀胱癌をより発見しやすくするため、最新の狭帯域光観察(NBI)での検査が可能です。内視鏡専用の洗浄器も導入しておりますので、常に清潔な状態で検査が受けられます。



3 超音波画像診断装置

膀胱・腎臓・副腎・尿管・前立腺の臓器に腫瘍や結石がないかの観察を行う、超音波画像診断装置を導入しました。2秒での高速起動でお待たせすることなく検査開始ができます。また、高画質な大型モニター及び、新機能により腎臓の血流(葉間動脈、小葉間動脈)が鮮明に描出でき、腎梗塞のより詳細な診断が行えます。



4 超音波膀胱内尿量測定装置

膀胱機能評価、尿意の回復や排尿自立支援を目的とした、下腹部にプローブをあて、排尿後に膀胱内に残った尿量を調べることが可能な超音波膀胱内尿量測定装置を導入しました。膀胱を可視化しながら尿量を測定しますので、正確な尿量測定が可能です。



5 全自動尿中有形成分(尿沈渣)分析装置

尿定性検査で異常と認められた検体をより詳細に分析する、尿沈渣検査を行う機器を導入しました。尿沈渣検査は、腎疾患、尿路疾患の診断に活用される重要な検査です。当院では最新機器を導入しており、赤血球、白血球、細菌、上皮細胞、等の項目測定が1検体あたり約75秒で完了します。

患者様の待ち時間が少なく、信頼性の高い検査を行えます。



6 検診台

ソファのような体を包み込むフォルムが安心感を与え、羞恥心を和らげる最新の検診台を導入しました。座面のパッドは洗浄可能で、清潔な状態で検査を受けて頂けます。

● ご不明な点等がございましたら、日東病院までお気軽にご連絡ください



日東病院 024-932-0164
〒963-8015 福島県郡山市細沼町3-6

■ 診療時間/午前9:00~12:00 午後13:30~17:00 (※土曜午後および日曜・祝日は休診)

